

令和元年度 学力向上プラン

永水 小学校

学力向上スローガン
 わかる・できる・楽しいを実感

市目標

- アンダーアチーバー 0（ゼロ）の実現
- 鹿児島学習定着度調査 全教科県平均超えの達成
- 夢を描き志を立て、学習に能動的に取り組む生徒の育成

一点突破策
 自分の考えを根拠をもって書く
 活動を充実させる

めざす児童の姿

立志夢
 夢や目標をもち最後までやり遂げる児童

全国学力・学習状況調査（全国との差）				鹿児島学習定着度調査 （県平均通過率との差）5年生			
教科	これまで		今回	教科	H30年度	目標値	結果
	H29	H30	H31				
国語A	***	***	***	国語	***	+5.0	
国語B	***	***		社会	***	+5.0	
算数A	***	***	***	算数	***	+5.0	
算数B	***	***		理科	***	+5.0	
理・英	—	***	—				

視点	重点対策	責任者	評価		1学期			2学期			3学期			
			成果指標 （学校評価から）		目標値	具体策	結果	改善の ポイント	具体策	結果	改善の ポイント	具体策	結果	年間評価及び 次年度の方針
授業力向上 S「主体的・対話的で深い学び」が実現する 見届け	児童の学び意欲を高めるための手立ての工夫	各担任	【職】児童が自ら問いを見いだす(課題を発見できる)よう教材や発問等を工夫したか。 【児】授業のめあてとまとめをしっかりとノートに書いたか。	【職】3.0 【児】2.5	学習課題の提示と見通しを持たせる場を設定する。	【職】2.8 【児】2.5	デジタル教科書等を用いて児童の興味を高め、課題意識へつなげる指導を継続していく。	自分の学びを自分の言葉でまとめる時間を保障する。			自分の学びを自分の言葉でまとめる時間を保障する。			
	表現力・発表力を高めるための手立ての工夫	各担任	【職】根拠や理由を押さえながら自分の考えをまとめたり、発表したりする場を設定したか。 【児】理由を考えて自分の考えを発表できたか。	【職】3.0 【児】2.0	根拠をもって、自分の考えをもつ手立てを工夫する。	【職】2.4 【児】2.0	自分の考えを書く活動の中で、理由や根拠を明確にしたモデルを示し児童の支援を行う。	効果的な交流を行うための手立てを工夫する。			対話を通して自分の考えを再構築する場面を設定する。			
	「授業連動型家庭学習」の実践と校内事例の蓄積	各担任	【職】授業連動と連動した家庭学習の取り組みを行ったか。 【児】家での学習を最後までしっかりと終わらせたか。	【職】3.0 【児】2.5	授業連動型家庭学習の手引きをもとにした実践を行う。	【職】2.8 【児】3.0	手引きを活用してポイントを押さえた取組を行う。全クラスでの実践事例を作成する。	授業連動型家庭学習の手引きをもとにした実践事例を紹介する。			本年度の実践をもとに年間指導計画への位置付けを行う。			
	授業を通じた実践的な研修の実施	研修	【職】校内研修の機会を利用して授業力の向上を図ったか。	【職】3.0	学級・学校の実態を把握し、個に応じた指導・支援法を計画する。	【職】2.2	複式学級における指導法の工夫改善を行う。個人カルテを利用して特性に応じた支援を行う。	研究授業の実施と授業研究の充実を図る。			研修成果と課題をまとめ、次年度の目標設定をする。			
学びの基礎 S「主体的・対話的で深い学び」が実現する 見届け	他校研究授業・外部研修会への積極的参加	研修	【職】校外研修等に積極的に参加し、学んだ内容を他の職員に還元しているか。	【職】3.0	小中連携研修会への参加と外部研修会へ参加・情報提供を行う。	【職】2.4	外国語科における研究をもとに実践を行い、成果と課題をまとめる。	研究公開での授業提供を通じた研修を深める。			他校研究授業・外部研修会へ参加・情報提供を行う。			

めざす児童の姿

時間を守る子
 自分の考えを最後まで話す子

全国学力・学習状況調査（質問紙）6年生				
※ 「①当てはまる」 + 「②どちらかという当てはまる」				
	H30年度	H31.4月	目標値	2020年2月 （校内調査）
将来の夢や目標をもっている。	50%	80%	100%	%
自分には、よいところがあると思う。	50%	80%	80%	%
自分で計画を立てて勉強している。	50%	60%	100%	%